

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成28年1月21日

計画の名称	安全・安心で快適なまちづくり		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	沼津市
計画の目標			

市民の生命と財産を守ることは行政の重要な役割であり、使命である。東海地震による被害が想定される沼津市においては、防災対策が急務であり、災害を最小限に抑えるため市民と行政が一体となった対応が必要となる。一方、沼津市は長く変化に富んだ海岸線や緑豊かな山々など豊かな自然とともに発展してきた。この豊かな自然と共生したまちづくりを行うとともに、先人たちが残した多くの歴史財産を活かしたまちづくりを行わなければならない。こうしたことから、安全・安心であるとともに、緑や歴史を感じる快適で魅力あふれるまちづくりを行い、真に心豊かにいきいきと暮らせる都市空間の創出を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

沼津市の定住人口減少率を0.4%に減少させる。
 沼津市内の大規模盛土造成地の危険度判定実施割合を100%にする。
 市民一人当たりの都市公園面積を6.16㎡(H22)から6.38㎡(H26)にする。
 防災通信ネットワークデジタル化対応地域を100%にする。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
定住人口減少率(%) (定住人口減少率=100-当年度人口/前年度人口*100)	0.44%		0.40%	
大規模盛土造成地の危険度判定の実施割合(%) (大規模盛土造成地の危険度判定の実施割合=判定実施箇所/該当盛土造成箇所)	0%		100%	
市民一人当たり都市公園面積(㎡/人) (市民一人当たり都市公園面積=都市公園面積/沼津市人口)	6.16㎡		6.38㎡	
防災通信ネットワークデジタル化率(%) (防災通信ネットワークデジタル化率(%)=デジタル化設備/全防災通信設備)	79.9%		100%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,679百万円	A	1,565百万円 (うち提案事業分 187百万円)	B	114百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C)/(A+B+C)	11.1%
-------	---------------	----------	---	------------------------------	---	--------	---	------	----------------------------------	-------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	H28年1月
社会資本総合整備計画の事後評価として沼津市事後評価監視委員会にて実施	公表の方法
	沼津市公式ホームページ

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況（○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込（備考欄に完成予定時期を記入） -：その他（備考欄に具体的に記入（中止、未実施等））

A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
									H22	H23	H24	H25	H26			
2-A-4	防災	一般	沼津市	直接	沼津市	都市防災推進事業	デジタル無線中継局、半固定局等	沼津市						69	○	
2-A-5	防災	一般	沼津市	直接	沼津市	宅地耐震化推進事業	大規模盛土造成地の変動予測調査	沼津市						21	-	中止
2-A-6	都市再生	一般	沼津市	直接	沼津市	門池北部地区都市再生整備計画事業	区域 A=45.3ha	沼津市						1,334	○	
2-A-7	都市再生	一般	沼津市	直接	沼津市	東海道原宿地区都市再生整備計画事業	区域 A=81ha	沼津市						141	○	
合計													1,565			

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
									H22	H23	H24	H25	H26			
2-B-1	道路	一般	沼津市	直接	沼津市	市道0204号線道路改良事業	用地買収(A=634.07㎡)、道路改良(L=90m)	沼津市						114	△	
合計													114			

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
2-B-1	東海道原宿地区都市再生整備計画事業(2-A-7)にあわせ、帯笑園前から県道東柏原沼津線との交差点部までを拡幅改良し、歩行者の安全と車輛通行の円滑化を図る。															

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
									H22	H23	H24	H25	H26			
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

その他関連する事業																
計画等の名称 都市公園の長寿命化と安全・安心で快適なまちづくり(防災・安全)																
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
								H22	H23	H24	H25	H26				
2-A'-3	公園	一般	沼津市	直接	沼津市	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(沼津市)	長寿命化計画に沿った整備(老朽化した施設(トイレ等)の改修)	沼津市						60		防災・安全移行費
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
								H22	H23	H24	H25	H26				
A'	公園	一般	沼津市	直接	沼津市	都市公園事業(片浜北公園)	用地買収、施設整備(園路・広場、耐震性貯水槽等)(A=0.51ha)	沼津市						250	○	
	公園	一般	沼津市	直接	沼津市	都市公園事業(門池公園)	施設整備(園路・広場、植栽、手洗場等)(A=2.4ha)	沼津市						405	○	
C'	施設整備	一般	沼津市	直接	沼津市	(仮称)門池地区センター建設事業	地区センター整備(延床 1,175㎡)	沼津市						323	○	

A'	715百万円	B'	0百万円	C'	323百万円	(C'+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))	18.8%
----	--------	----	------	----	--------	--------------------------------	-------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 門池北部地区都市再生整備計画事業や東海道原宿地区都市再生整備計画事業により、住環境整備を行っているが、津波被害の懸念などから、人口流出が進行している。 危険度判定を実施するに至らなかったが、大規模盛土造成マップを公表することにより、市民の周知を図った。 門池北部地区都市再生整備計画事業等により、都市公園を整備したことで、市民一人当たりの都市公園面積が増加につながった。 都市防災推進事業にてデジタル無線中継局や半固定局等の整備を行ったことにより、市内における防災通信ネットワークデジタル化対応地域が100%になった。
--------------------------------	--

II 定量的指標の達成状況	指標①(定住人口減少率)	最終目標値	0.40%	目標値と実績値に差が出た要因	周辺都市圏における中核機能の低下や津波被害への懸念などから人口流出が進行している。
		最終実績値	0.98%		
	指標②(大規模盛土造成地の危険度判定の実施割合)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	事業の進め方について検討しているため。
		最終実績値	0%		
	指標③(市民一人当たり都市公園面積)	最終目標値	6.38㎡	目標値と実績値に差が出た要因	計画策定時には、見込んでいなかった民間開発などにより、公園が整備されたため。
		最終実績値	6.55㎡		
	指標④(防災通信ネットワークデジタル化率)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り指標を達成した。
		最終実績値	100%		

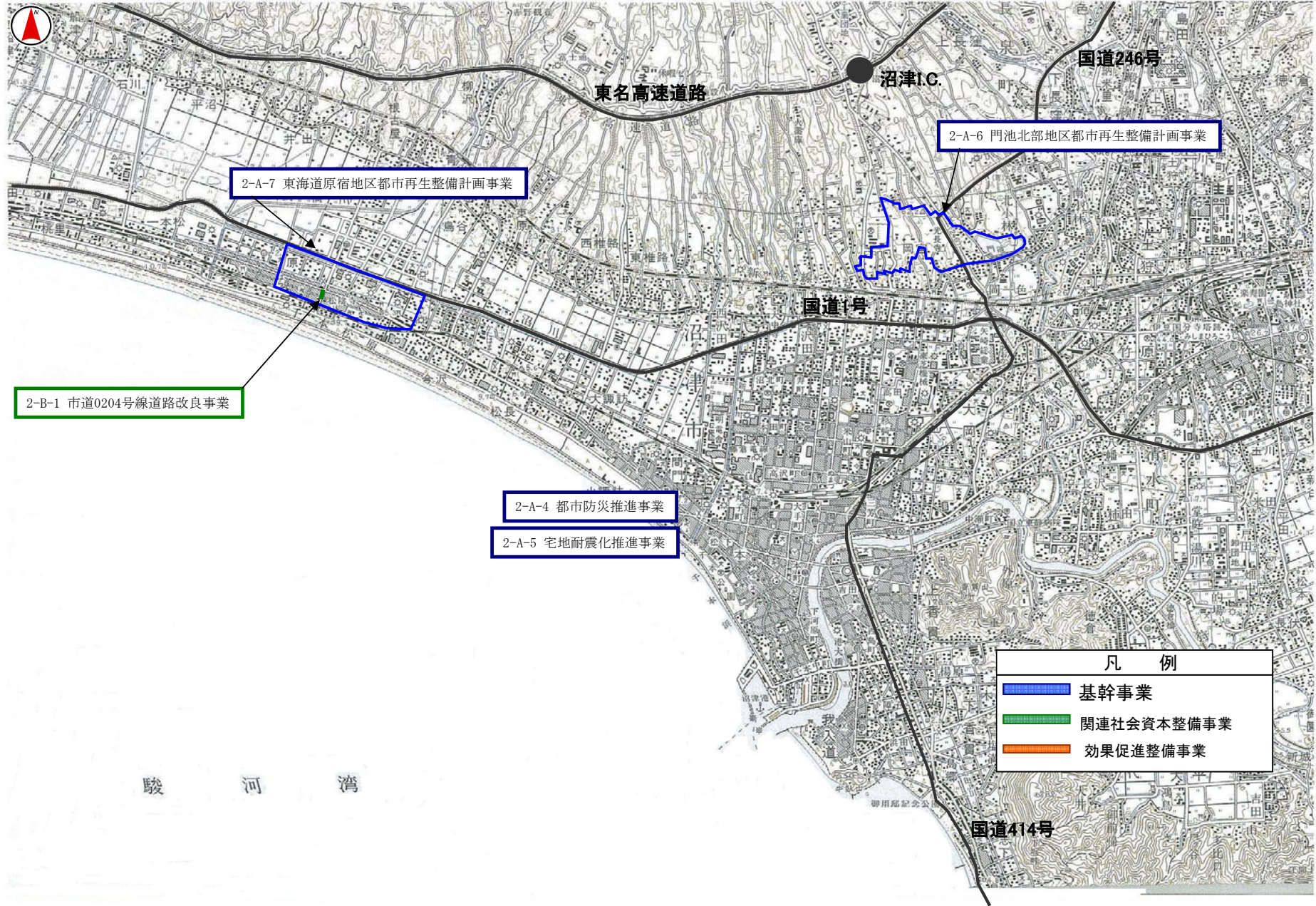
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
--	--

3. 特記事項(今後の方針等)

計画期間終了後も、各種交付金を活用して、安全・安心で快適な市街地環境の整備とともに、緑や歴史を感じる快適で魅力あふれるまちづくりを行い、真に心豊かにいきいきと暮らせる都市空間の創出を目指していく。

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	沼津市



2-A-7 東海道原宿地区都市再生整備計画事業

2-A-6 門池北部地区都市再生整備計画事業

2-B-1 市道0204号線道路改良事業

2-A-4 都市防災推進事業

2-A-5 宅地耐震化推進事業

凡 例	
	基幹事業
	関連社会資本整備事業
	効果促進整備事業